

経済学研究科の研究プロジェクトが 文科省平成 25 年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択

本プロジェクトでは、動学研究にパラダイムシフトをもたらした「カオス動学理論」を基礎に据えた、日本初の非線形経済動学研究拠点を形成します。とくに「非線形性」、「時間遅延」、「不安定性」を明示的に取り上げて、必ずしも安定的でない経済を分析します。

本プロジェクトのメンバーは、1990年代より国際的研究グループ、Research Group of Nonlinear Economic Dynamics (NED) の中核として、この分野の学術的な発展に大いに寄与して来ました。本事業の採択を契機として、非線形動学理論研究の最先端であるウルビーノ大学の動学研究センター（伊）、アムステルダム大学のCeNDEF（The Center for Nonlinear Dynamics in Economics and Finance, 蘭）と本拠点とを結び、世界3極によ

る学際的・国際的な研究体制を構築します。

この強力な研究体制のなかで本学は、非線形動学理論の精緻化に取り組み、得られた成果を援用して、マクロ動学、地域・都市経済学、実験経済学、環境経済学についての応用研究を実施します。

また、2015年にはNED15を中央大学で開催し、最新の研究成果の創出と合わせて、我が国における経済動学研究の発展を促進していきます。

【私立大学戦略的研究基盤形成支援事業】

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業は、私立大学が各大学の経営戦略に基づいて行う研究基盤の形成を支援するため、研究プロジェクトに対して重点的かつ総合的に補助を行う事業であり、もってわが国の科学技術の進展に寄与するものである。（文部科学省ホームページより）

プロジェクト代表メンバー



経済学部教授
経済学研究科委員長
松本 昭夫



経済学部教授
浅田 統一郎



経済学部教授
経済研究所長
石川 利治



経済学部教授
瀧澤 弘和



経済学部教授
藪田 雅弘

「経済動学研究の国際的研究拠点の構築および新しい経済動学分析の発展」の概念図

